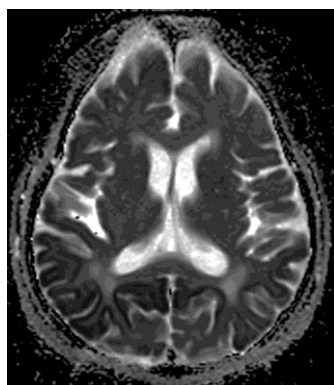
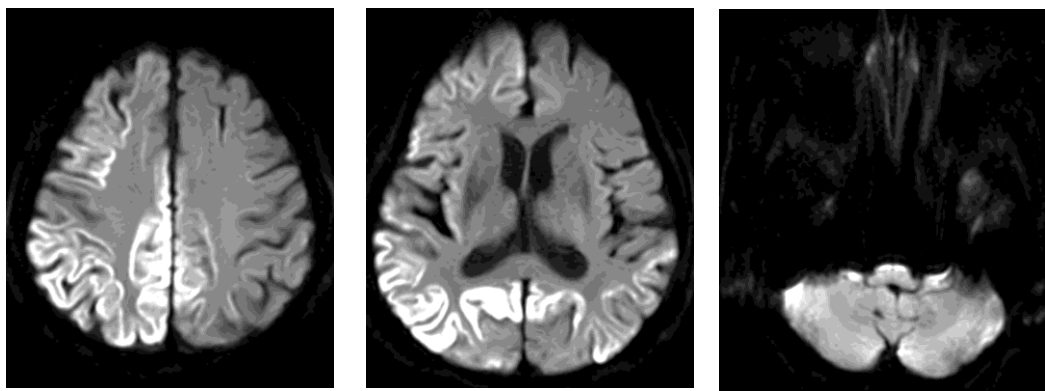


V180I変異型gCJDの早期診断のための 画像の特徴の検討

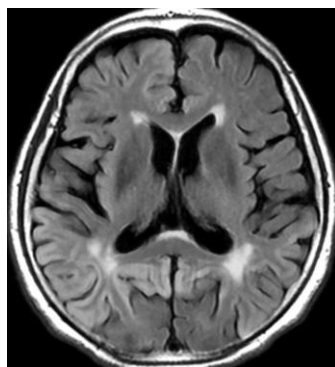
研究分担者: 徳島大学医歯薬学研究部放射線医学分野 原田雅史

V180I変異型gCJDの典型画像

DWI



ADC



FLAIR

解 説

- 1.V180I変異型gCJDの特徴的な画像所見は下記のようにまとめることができる。
 - 1)大脳皮質のDWI高信号:浮腫を伴う肥厚した高信号であり、FLAIRでも高信号として認められることが多い。
 - 2)基底核及び後頭葉の皮質:高信号を呈さないことが多い。
- 2.V180I変異gCJDのMRI所見は、sCJDとは異なる空間分布と信号特性を有する。
この画像的特徴は、プリオン病における脳部位ごとの脆弱性や、変性プロセスの多様性を解明する上でも重要な手がかりを与えるものと推察される。